

WordPress プラグインを作ってみる Ver1.0

Seiichi Nukayama

2021-10-31

目次

1	簡単な Web アプリを作成する	1
2	プラグインに変更する	2
2.1	プラグインファイルをつくる	2
2.2	各種スクリプトファイルの読み指定	3
2.3	画面出力部分	4
2.4	コードをまとめると.....	5

1 簡単な Web アプリを作成する

以下のような、簡単な Web アプリを作成してみた。

リスト1 index.html

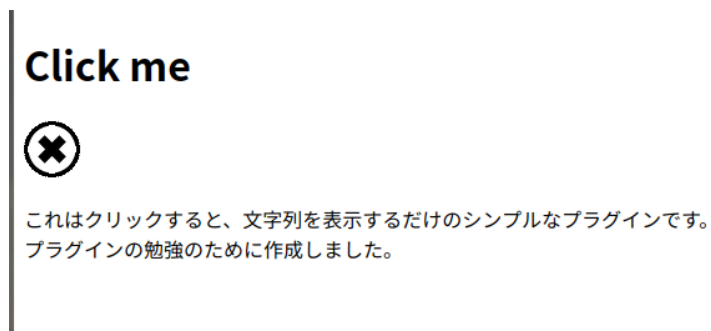
```
1 <!doctype html>
2 <html lang="ja">
3   <head>
4     <meta charset="utf-8"/>
5     <title>Click me</title>
6     <link rel="stylesheet" href="css/onclick.css"/>
7   </head>
8   <body>
9     <h1>Click me</h1>
10    <section>
11      <button id="start">クリックしてね</button>
12      <div id="area">
13        
14        <p>これはクリックすると、文字列を表示するだけのシンプルなプラグインです。<br/>
15        プラグインの勉強のために作成しました。</p>
16      </div>
17    </section>
18    <script src="https://ajax.googleapis.com/ajax/libs/jquery/3.6.0/jquery.min.js"></script>
19    <script src="js/onclick.js"></script>
20  </body>
21 </html>
```

リスト2 onclick.js

```
1 'use strict';
2
3 $(function () {
4   $('#start').on('click', function() {
5     $('#area').css('display', 'block');
6     $('#start').css('display', 'none');
7   });
8
9   $('#close').on('click', function() {
10    $('#area').css('display', 'none');
11    $('#start').css('display', 'block');
12  });
13 });
```

リスト3 onclick.css

```
1 @charset "UTF-8";
2
3 #area {
4   display: none;
5 }
6
7 #start {
8   cursor: pointer;
9 }
10
11 #close {
12   cursor: pointer;
13 }
```



フォルダ構成は、以下のとおり。

```
./onclick-plugin
  css/
    onclick.css
  img/
    close.gif
  index.html
  js/
    onclick.js
```

2 プラグインに変更する

index.html をもとに プラグインを作っていく。

2.1 プラグインファイルをつくる

以下のように、プラグインのファイルを作る。プラグイン名がわかるように名前をつける。index.html と同じ場所に置く。

onclick-plugin.php

そして、ファイルの先頭部分に以下の記述をする。

リスト 4 onclick-plugin.php

```

1 <?php
2 /*
3  * @wordpress-plugin
4  * Plugin Name: Onclick Plugin
5  * Description: 'onclick'のテスト。ショートコードは '[insert_onclick]'。
6  * Version: 1.0
7  * Author: Seichi Nukayama
8  */

```

1. プラグインであることを WordPress に伝えている。
2. ダッシュボードのプラグイン一覧に表示される。
3. プラグイン一覧に表示される。ショートコードもここに書いておく。
4. プラグインの管理上、必要。
5. 作者名も書いておく。

2.2 各種スクリプトファイルの読込指定

スタイルシート (onclick.css) や JavaScript ファイル (onclick.js) を読み込ませるための記述が以下である。

リスト 5 onclick-plugin.php

```

1 function add_somefiles() {
2     wp_enqueue_script('onclick', plugins_url('js/onclick.js', __FILE__), array('jquery')
3     , '1.0', true);
4     wp_enqueue_style('onclick', plugins_url('css/onclick.css', __FILE__));
5 }
6 add_action('wp_enqueue_scripts', 'add_somefiles');

```

ここでは、add_somefiles という名前の関数を定義し、それを add_action() 関数で読み込んでいる。そして、それを wp_enqueue_scripts というアクションフックに登録している。

wp_enqueue_scripts というアクションフックに登録しておけば、適切なタイミングで JavaScript を読み込んでくれるのである。

js フォルダにある onclick.js は、`wp_enqueue_script()` という関数で読み込ませることができる。この関数は引数を 5 個もっている。

```

wp_enqueue_script('onclick', plugins_url('js/onclick.js', __FILE__),
    array('jquery'), '1.0', true)

```

1. 'onclick_js'

ここで読み込ませる onclick.js のハンドル名。スクリプトに id="onclick-js" として出力される。

2. plugins_url('js/onclick.js', __FILE__)

読み込むファイルを指定。plugins_url() を使うことで、プラグインのフォルダを指定できる。__FILE__ 指定により、絶対パスを取得でき、それを親ディレクトリとして 'js/onclick.js' を指定できる。

3. array('jquery')

このスクリプトが依存するファイルを指定できる。ここでは jQuery を指定している。jQuery は WordPress がデフォルトで読み込んでくれているので、それを使うという意味である。

4. '1.0'

このバージョン番号はこのスクリプトが読み込まれるときに URL 文字列にクエリ文字列として出力されるので、スクリプトファイルのバージョンを表すものとして使える。指定すべきである。

5. true

これを true にすると、Body の終了タグの直前にスクリプトを読み込んでくれる。

```
wp_enqueue_style('onclick', plugins_url('css/onclick.css', __FILE__), array(),
    '1.0');
```

1. 'onclick'

スクリプトに id="onclick-css" と出力される。

2. plugins_url('css/onclick.css', __FILE__)

onclick.css を プラグインフォルダ (絶対パス) に続けて読み込ませる。

3. array()

このスタイルシートの前に読み込むべきスタイルシートを指定できる。無ければ空の配列を記述しておく。

4. '1.0'

スクリプトの記述にクエリ文字列としてバージョンを記述できる。

2.3 画面出力部分

続けて画面出力部分を記述する。

リスト 6 onclick-plugin.php

```
1 function go_test() {
2     ob_start();
3 }
4 <section>
5     <button id="start">クリックしてね</button>
6     <div id="area">
7         
8         <p>これはクリックすると、文字列を表示するだけのシンプルなプラグインです。<br>
9         プラグインの勉強のために作成しました。</p>
10    </div>
11 </section>
12 <?php
13 return ob_get_clean();
14 }
15 add_shortcode('insert_onclick', 'go_test');
```

1 行目 function go_test()

関数名を定義。この関数名は 15 行目で 'insert_onclick' というショートコードと結びつけている。

2 行目 ob_start()

以下に記述する HTML をすぐに出力せずにバッファリングする。

7 行目 <?php echo plugins_url('/img/close.gif', __FILE__); ?>

close.gif を plugins_url() を使ってディレクトリ指定している。

13 行目 return ob_get_clean();

ここでバッファリングしていた文字列を出力する。そのことで、'insert_onclick' というショートコードを記述した部分に出力されるのである。

2.4 コードをまとめると.....

リスト 7 onclick-plugin.php

```
1 <?php
2 /*
3  * @wordpress-plugin // <1>
4  * Plugin Name: Onclick Plugin // <2>
5  * Description: 'onclick'のテスト。ショートコードは '[insert_onclick]'。 // <3>
6  * Version: 1.0 // <4>
7  * Author: Seiichi Nukayama // <5>
8  */
9
10 function add_somefiles() {
11     wp_enqueue_script('onclick', plugins_url('js/onclick.js', __FILE__), array('jquery'),
12         '1.0', true);
13     wp_enqueue_style('onclick', plugins_url('css/onclick.css', __FILE__));
14 }
15 add_action('wp_enqueue_scripts', 'add_somefiles');
16
17 function go_test() {
18     ob_start();
19     ?>
20     <section>
21         <button id="start">クリックしてね</button>
22         <div id="area">
23             
25             <p>これはクリックすると、文字列を表示するだけのシンプルなプラグインです。<br>
26             プラグインの勉強のために作成しました。</p>
27         </div>
28     </section>
29     <?php
30     return ob_get_clean();
31 }
32 add_shortcode('insert_onclick', 'go_test');
```

index.html は不要なので、削除する。フォルダ構成は、以下。

```
./onclick-plugin
  css/
    onclick.css
  img/
    close.gif
  js/
    onclick.js
```

onclick-plugin.php

この onclick-plugin フォルダを zip 形式で圧縮する。

これを WordPress のダッシュボードで プラグイン – 新規追加 – プラグインのアップロードを選択し、“参照” ボタンでアップロードすればよい。